



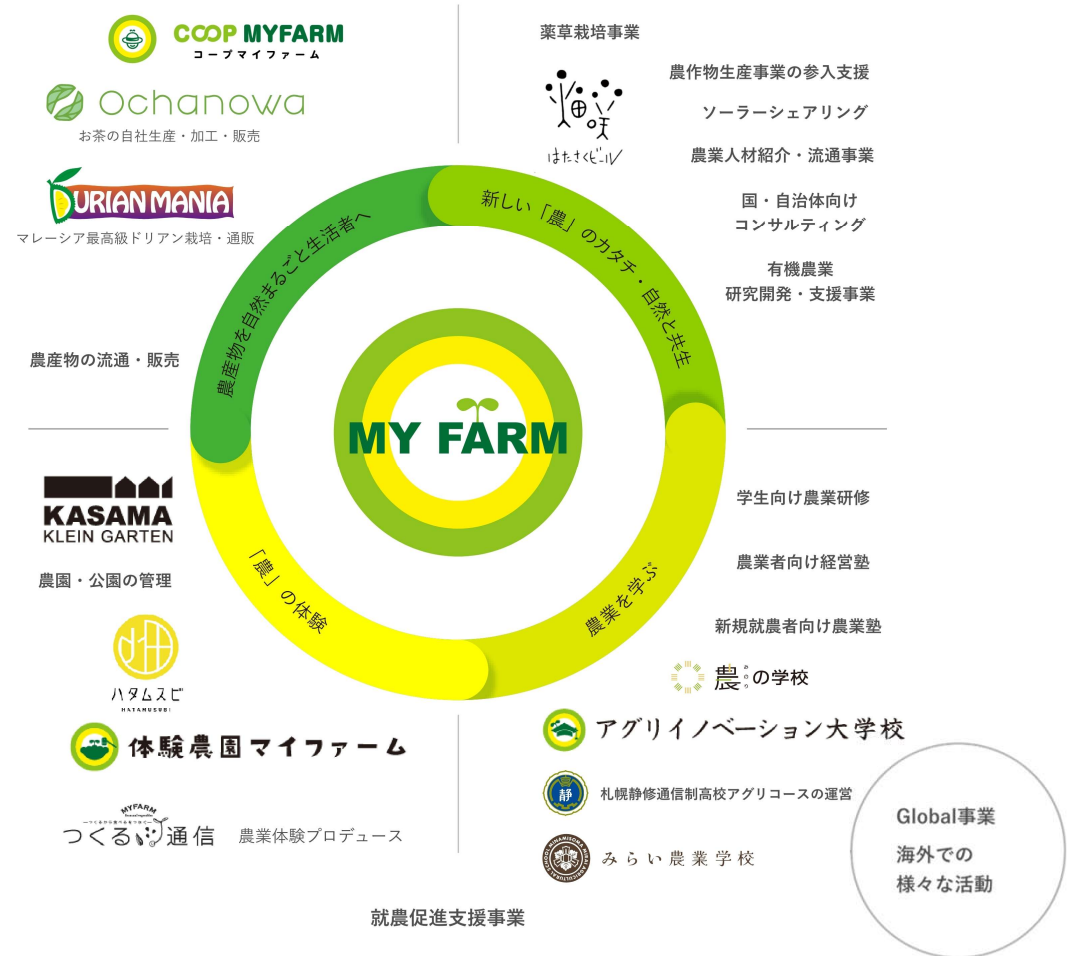
株式会社マイファーム
—— 自産自消のできる社会へ ——

会社紹介 | 事業循環



「自産自消」が 当たり前の社会を目指して

株式会社マイファームは、「**自産自消**ができる**社会**」を理念に、体験農園・農業学校・流通販売・農産物生産・農業コンサル・行政連携など、独自の観点から農業の多面性を活かした種々の事業を行っています。





社会人向け農業スクール 「アグリイノベーション大学校」とは

週末だけで、栽培や農業界のことを実践的に学ぶ学校です

「農業への興味が湧いてきた。
でも、どうやったら農業を始められるだろうか。」

アグリイノベーション大学校（AIC）では、栽培の原理原則や、
農業技術の基礎、農業界の仕組みを実習や講義で学べる社会人向けの農
業スクールです。

週末開講のため、お仕事を続けながら通っていただけます。
現役の農家や農業界の専門家が務める講師や事務局が、
皆さんのチャレンジをバックアップします。

合言葉は、
「知る、関わる、飛び込む。あなたらしい農の入口へ。」



AICについて | 歩み



アグリイノベーション大学校(AIC)の歩み

2007年

(株)マイファーム設立。
耕作放棄地を整地し、
貸農園にするビジネスから
始まりました。



2011年

(株)マイファームの事業
として、AIC開校。
自産自消の充実や
農業界を目指す人々が
集う農の入口に。



2022年

受講生が2000人を突破。
卒業生×在校生×講師で
更に広がるネットワーク。
日本全国で活躍する
AICの卒業生たち。



2025年

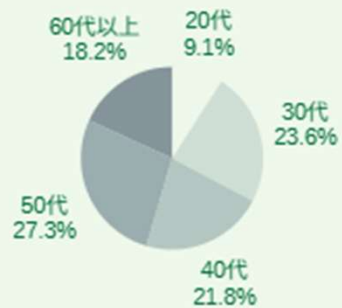
カリキュラムリニューアル。
より多くの人に、
農に関する充実した学びや
気づきを得られる学び舎へ。



AICについて | 受講生・卒業生

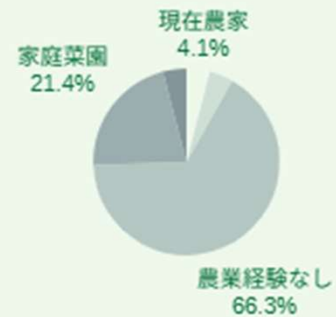


データで見る、AICの受講生・卒業生



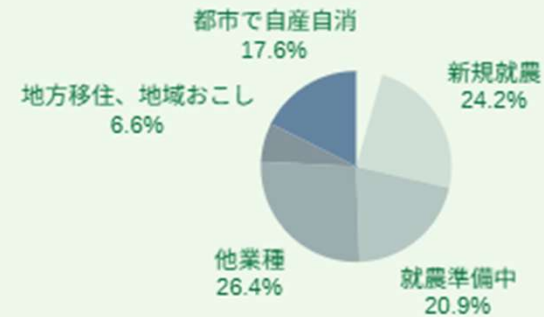
年齢割合

20代から70代まで、幅広い世代の方や様々なバックグラウンドの方が毎年入学されています。



農業経験割合

入学するほとんどの方が、農業未経験者です。入学に必要なのは情熱のみ。



卒業後の進路

就農を目指す方が1番多く、地域によっては卒業後に就農される方もいます。在学中に、進路を考える方も多数いらっしゃいます。

AICについて | カリキュラム構成



AICのカリキュラム

栽培のことだけでなく、農業界についても学べるのがAICの特徴です。
在学中や卒業後に農の世界へ一歩踏み出せるよう、
学びと実践的なアクションを組み合わせたカリキュラムになっています。

- 農場実習
- 農業学
- 視察、ツアー
- 就農準備オプション
- AICオープンカレッジ



- アグリラボ（後述）
- オープンデー
- 援農
- 販売実習
- グループ実践区画

AICについて | 農場実習



農場実習

畑を五感で感じる、学ぶ。

プロ農家が教える栽培
技術を畑で学び、仲間と共に学びを分かち合う

農場実習では、自らも農業経営を実践するプロの有機農家が講師となり、1年間の畑の流れを見ていきます。
午前中の「講義」時間は、講師と共に畑の観察を行った後、時期と作物の生育状況に合わせた農作業の目的や方法を学びます。
午後の「演習」時間(任意参加)では、習った農作業を身体で覚えていきます。
技術講義で学んだ理論と、五感で捉えて考える実践が畑で繋がります。



AICについて | 実習農場



AICの農場

実習をおこなう圃場(ほじょう)を
関東と関西あわせて5カ所に構えて
おります。

- 横浜農場
神奈川県横浜市泉区下飯田町1787-2
- 千葉農場
千葉県白井市複329-1
- 埼玉農場
埼玉県さいたま市西区飯田新田547
- 京都農場
京都府城陽市寺田南堤下20
- 大阪農場
大阪府富田林市須賀2丁目34



AICについて | 農場実習講師



農場実習講師

農場実習の講師は、現役の農家が担当。経験に裏打ちされた技術力・営農目線からの講義は深い学びをもたらします。



横浜農場講師
千葉 康伸
(農楽 ~NO-RA~)



千葉農場講師
柴海 祐也
(柴海農園)



埼玉農場
榎本 健司
(エノファ)



京都農場講師
上村 慎二
(かみむら農園)



大阪農場講師
神川健太
(ガリパークフィールド)

AICについて | 農業学



農業学

学び、農へ向き合う土台を作る。

農に関する「原理原則」
農業界を理解するための言語を学ぶ

植物の仕組みや病害虫の 予防・対策、土作りなどの「農業技術」と農と社会の関わり合いや農業界の仕組み、卒業生の事例を交えて学ぶ「農と社会」の両輪を学ぶことで農や農業界に関する解像度が上がります。

入学時、ほとんどの方が、どこで、どんな農業を行うかが決まっていません。そのため、卒業後にどんな農業人生を選んでも通用するチカラを身につけていただけるように内容設計をしています。

◆講師陣

農業系企業や農業界で活躍する実業家、卒業生が講師やゲストとして登壇し、最新の取り組み事例も交えて農業界のリアルをお伝えします。



学長
石原 北斗
(マイファーム取締役)



西辻 一真
(マイファーム代表取締役)



上田 悠太
(マイファーム)



原田 佑嗣
(原田公認会計士税理士事務所/
兼)就農・離農コンサルティング)

AICについて | アグリラボ



アグリラボ (2026年より新設)

農の世界に関わり、飛び込む準備。

◆実践型プログラム「アグリラボ」が拓く、農の世界
例えば、「野菜の販売」。

Q.多くの売上を上げるには？
Q.多くのお客さんに来てもらうには？
Q.商品として、手に取ってもらえる品質は？など

販売までのプロセスを一つ一つ掘り下げると、考えるべきことが多々あります。これらをクリアにする過程で、農業界や消費者のリアルが見えてきます。

◆アグリラボとは
農に関連するトピックから1つ選んでいただき、グループで探求・実践したり、課題へのアプローチやビジネスアイデアを企画するプログラムです。農業現場に対する認識や解像度を高めることを目標とします。

◆テーマ・取り組み例

生産販売	農場や実践区画で育てた野菜の収穫・袋詰め・販売までを実践
地域資源活用	地域の資源を活用した堆肥づくり
援農企画	様々な農家へ援農として赴き、多様な現場・農法に触れる
ビジネス企画	個人あるいはグループでビジネスプラン立案



農の学校について | 教育方針



丹波市立農の学校は、丹波市が設置し株式会社マイファームが指定管理業者として学校運営及び施設運営を行っています。

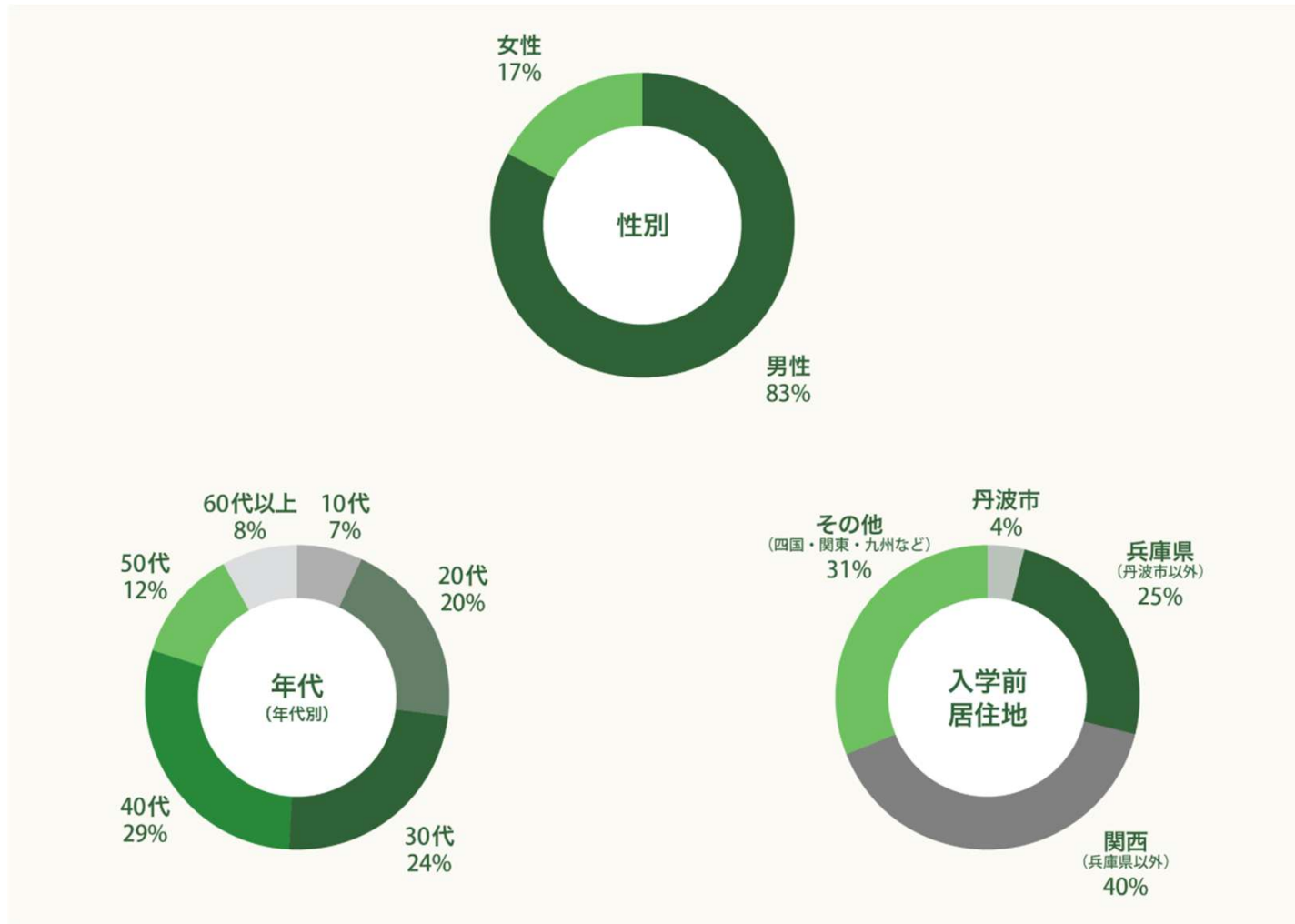
「自分で考え、自分で決める」 自主性を養う場とする。

畑は「学びの場」であると同時に「実践の場」である。

失敗してもいいから試してみることを大事にする。

農の学校について | 受講生

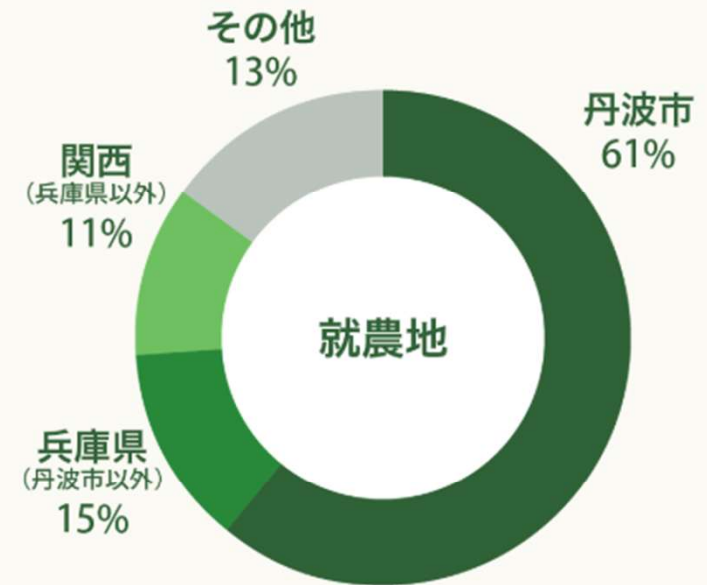
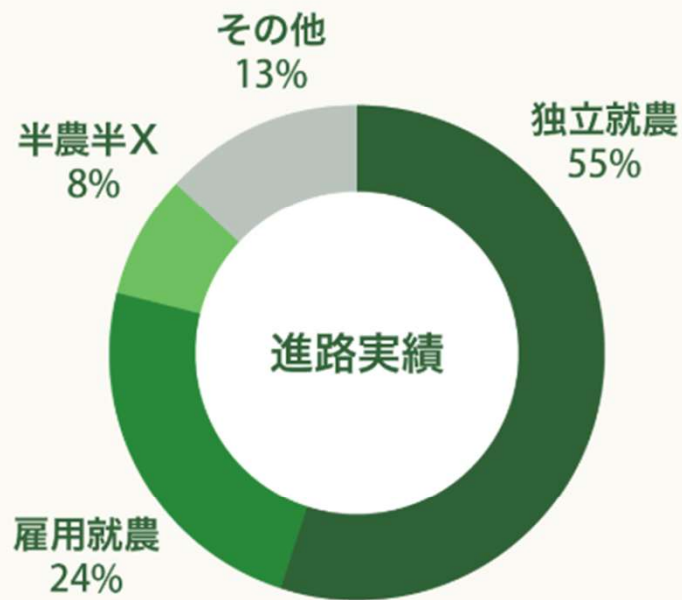
農の学校第7期生までの入学者108名



農の学校について | 卒業生



農の学校第6期生までの卒業者は91名、約6割が丹波市内で就農



令和6年度末情報

農の学校について | 施設・設備



○施設

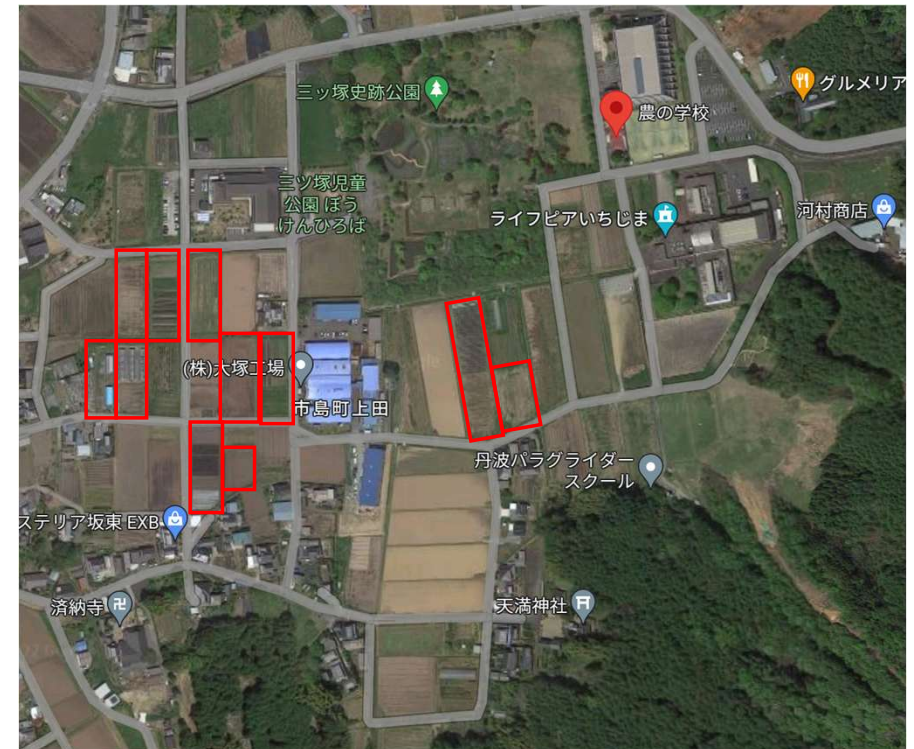
校舎/資材ハウス/育苗ハウス/栽培ハウス3棟

○圃場

14圃場/2.0ha

○機械

トラクター（25馬力）/マルチャー/ハンマーナイフモア/
スパイダーモア/一輪管理機/動力噴霧器/デイトナ/刈払
機4台/フレールモア/プラウ/プラソイラ/ほか



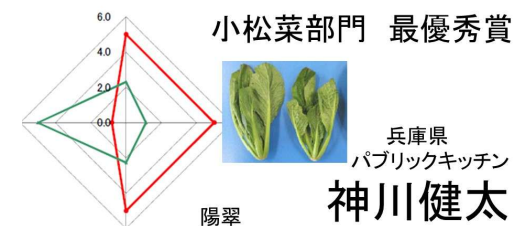
農の学校について | ほ場栽培実習専任講師



神川健太 (44歳)
BLOFインストラクター

■プロフィール

- 2007年～ 有限会社ファームダイニング (有機野菜)
榮農場 (有機稲作)
株式会社グリーンワーム21 (有機野菜)
土家農園にて農業研修を受ける
- 2013年～ 丹波市にて独立新規就農
株式会社パブリック・キッチン取締役就任、
農場運営に従事
- 2017年～ 有機農業普及協会のコンサルタントとして
農業栽培技術コンサルティングに従事
株式会社アローズファームにて栽培アドバイザーに従事
- 2021年～ 丹波市立農の学校専任講師に就任



	糖度	抗酸化力	ビタミンC	硝酸イオン
検体	12.3	276.0	124.4	<15
平均	5.7	62.4	56.5	3683

2016年 第5回 オーガニックフェスタin徳島
栄養分析コンテストにおいて グランプリ受賞

新規就農における課題と対応策案



- 圃場の選定－条件のいい農地の紹介、有機栽培圃場の継承
- 生産品目の選定－有機栽培品目の産地化
- 学び続けられる環境－高温渇水の対策、病害虫対策など